

会社名:	有限会社 ホリケン	承認	承認	承認	承認	承認	承認
第121回 安全衛生協議会		議事録					
実施年月日	2022年7月8日	議事録作成者			茅根 光浩		
責任者	堀 峰也	出席者			別紙参照		
<b>《安災システムにて開催致しました》</b>		2 熱中症対応フローチャート <span style="float:right">【20分】</span>					
1 熱中症 発生統計表 <span style="float:right">【25分】</span>	<p>チェック1 熱中症を疑う症状有りますか？</p> <p>(めまい・失神・筋肉痛・筋硬直・大量の発汗・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・意識障害・痙攣・運動障害・高体温)</p>						
厚生労働省発表							
令和3年 職場における根中小による死傷災害の発生状況	チェック2 呼びかけに応えますか？						
(令和4年1月14日時点速報値)	YES・涼しい場所へ避難し、服を緩め体を冷やす。(チェック3へ)						
	NO・①救急車を呼ぶ(応急処置を始める。呼びかけへの反応が悪い場合は無理に水を飲ませてはいけない。)						
	②涼しい場所へ避難し、服を緩め体を冷やす(氷嚢等で首・脇の下・太ももの付け根を集中的に冷やす)						
	③医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)						
1、職場における熱中症夜死傷者数の状況(2012～2021年)	チェック3 水分を自力で摂取出来ますか？						
職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上業務上疾病者の数は、令和3年に547人のうち死亡者は20人となっている。	YES・そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう						
過去10年間の発生状況、年平均死傷者数638人、死亡21人であり直近3年死傷者数は過去10年の36.6%を占めている。	NO・救急車を呼び医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)						
2、業種別発生状況(2017～2021年)							
過去5年間の業種別死傷者数は、建設業、次いで製造業で多く発生していた。							
2021年の死亡災害については 建設業が11件と最も多く、過去5年間に於いても死亡災害の最多業種となっている。	チェック4 症状が良くなりましたか？						
3、月・時間帯別発生状況(2017～2021年)	YES・そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう						
(1)月別発生状況 (2)時間帯別発生状況	NO・救急車を呼び医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)						
①2017年以降 全体の8割以上が7・8月に発生していた。死亡者数の割合は、7月・8月・9月の順に高かった。							
②時間帯別の死傷者数は 15時台が最も多く、次いで14時台が多くなっていた。							
4、2021年の熱中症による死傷者数の特徴	※ スポーツや激しい作業・労働によって起きる労作性熱中症の場合、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。 ※						
①WBGT値の実測不足 ②暑熱純化の不足疑われる入職直後の発症 ③屋内作業での発症 ④熱中症の発症と年齢の関係	3 必須動画 <span style="float:right">【10分】</span>						
⑤熱中症発症時の服装 ⑥熱中症発症者に対する対応や発見の遅れ ⑦熱中症を原因とする二次災害	・東京消防庁 応急処置動画						

